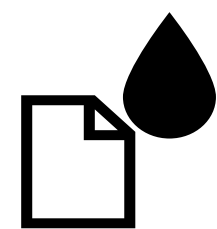


拡大新生児スクリーニング検査に関する保護者の認識と意思決定プロセス：質的研究

目的

日本における拡大新生児スクリーニング検査（eNBS）に対する保護者の認識を探る

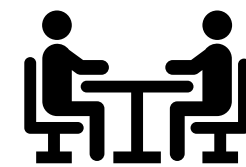
方法



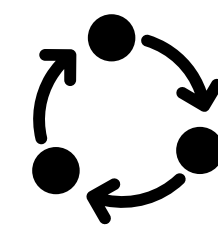
背景：
日本における
eNBS



対象：
新生児の母親
（24名）



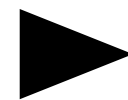
方法：
半構造化
インタビュー



分析：
再帰的
テーマ分析

結果：意思決定過程における3つのテーマ

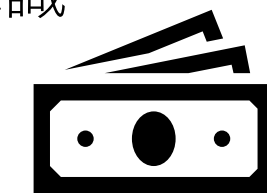
馴染みのない希少疾患に
対する理解の難しさ



個人の経験に基づく
主観的な解釈



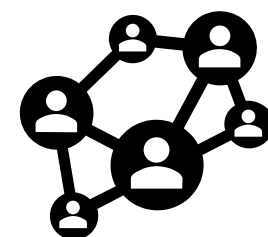
検査体制と
費用に対する認識



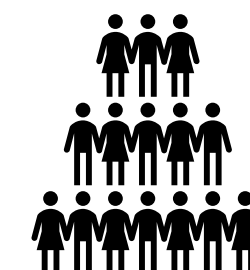
メッセージ：eNBSに関する十分な情報に基づいた意思決定支援



保護者の情報ニーズに
合わせたコミュニケーション



疾患の早期発見に伴う
社会的不利益や差別の防止



公的財政支援の
検討